

～やさしい心で一人ひとりを大切にまかせて安心トップ・ケア～

# ふれあい



発行: 株式会社トップケア

TEL: 072-670-4801

携帯・PHSからもご利用いただけます。

URL: <http://www.topcare.co.jp>

## \* 3.3 \* ひなまつり 生活情報局



3月3日は桃の節句・ひな祭り。ひな祭りは女の子の健やかな成長と厄除けを願う日本の伝統行事で、お雛様は子供の災厄を代わりに引き受けてくれる守り神のような存在とされています。

節句の前日に慌ててお雛様を出すことは、『一夜飾り』として縁起が悪いとされ、立春を過ぎた「大安」「友引」に飾り出す人が多いようです。また、「雨水」の2月19日頃に飾るのもふさわしいと言われています。

雛飾りは、3月3日が過ぎたらすぐに片付けます。お雛様が出っぱなしでは、家事も下手に違いないとみなされ、婚期が遅れるのだそうです。



ひな祭りに食べる「ちらし寿司」の具にはそれぞれ意味があります。**エビ**は「腰が曲がるまで長生きできますように」。レンコンは「先が見通せるように」。豆は「健康でマメに働く」といった具合です。

**はまぐり**は、蝶番の部分が個体によって異なる為に、もともと対になっていた殻同士でないと絶対に合わないそうです。このことから「貝合わせ」という遊びができました。また、「一生涯一人の相手と添い遂げる」という夫婦像の象徴として、雛祭りに、はまぐりのお吸い物を飲む習慣があります。「娘が、将来、ステキな男性と出会っていい結婚、いい夫婦生活が送れますように」という親の願いですね。

赤・白・緑の三色が見た目にも美しい**菱餅**も、ひな祭りには欠かせません。

赤は魔除け、白は清浄、緑は健康という意味があり、「雪解け(白)には新芽が吹き(緑)やがて桃の花が咲く(赤)というように春の様子を表していると言われています。



いかがでしょう! 「しばらくお雛様を飾っていないわ」という方も、今年はお飾りをして、春の到来を迎える準備をいたしませんか?



## 万葉館デイサービスセンター 餅つき大会

万葉館デイサービスセンターでは、1/18に『餅つき大会』を開催しました。

“臼と杵で餅つきをする様子”を楽しまれたり、“生地を伸ばしたり”、“大根おろしを擦ったり”、“あんこをかけたり”・・・楽しく『万葉館オリジナルお餅』が完成し、皆様に美味しく召し上がられました。

「昔はもっと手際よく出来た」とか、「杵が重たく感じるようになった」と笑顔でお話されていましたが、餅つきをしているお姿は機敏な動きで手際が良かったです! これからもたくさんのイベントを利用者様と共に行っていきたく思っております。